

意見招請を実施する案件

【意見招請番号：7】

案件名	日本留学試験聴解試験用CD制作業務
-----	-------------------

直近の調達内容

契約件名	平成31年度日本留学試験聴解試験用CD制作業務
調達方式	一般競争入札（最低価格落札方式）
入札公告日	平成30年12月17日
競争参加資格	<p>本件の一般競争入札に参加できる者は、以下の条件をすべて満たしている者とする。</p> <p>(1) 平成28・29・30年度文部科学省競争参加資格（全省庁統一資格）において、「役務の提供等」の競争参加資格を有する者であること。なお、当該競争参加資格については、平成30年3月30日付け号外政府調達第59号の官報の競争参加資格の資格に関する公示の別表に掲げる申請受付窓口において随時受け付けている。</p> <p>(2) 予算決算及び会計令第70条及び第71条の規定に該当しないこと。なお、未成年者、被保佐人、被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同70条中、特別の理由がある場合に該当する。</p> <p>(3) 平成26年1月1日以降に、次の①～③のいずれかの試験問題のCD制作・製造業務を遺漏なく履行完了した実績があること。</p> <p>①大学又は高校入試選考のための語学リスニング試験 ②語学力を測定するための認定試験の聴解（リスニング）問題 ③公的な試験の聴解（リスニング）問題</p> <p>(4) 本機構理事長から取引停止を受けている期間中でないこと。</p> <p>(5) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」（平成3年法律第77号）に規定するところの暴力団及びその構成員、準構成員又はその関係者でないこと。</p> <p>(6) 個人情報の取り扱いについて適切な保護措置を講ずる体制を整備していること（プライバシーマークの認定を受けている等）。</p>
提出書類等及び提出期限	<p>(1) 一般競争入札参加申込書（本機構指定様式）・・・1部</p> <p>(2) 文部科学省競争参加資格（全省庁統一資格）の写し・・・1部</p> <p>(3) 個人情報の取り扱いについて適切な保護措置を講ずる体制を整備していることを証する書類（プライバシーマーク等の公的資格を取得している場合は、その写しで可）・・・1部</p> <p>(4) 提案書（同封の様式）・・・正本1部、副本2部</p> <p>平成31年1月15日 午後5時</p>
入札・開札日	平成31年1月18日 午後2時
業務履行期間	契約締結日 ～ 令和元年12月31日

2019年度（平成31年度）日本留学試験聴解試験用CD制作業務委託仕様書

○業務名

2019年度（平成31年度）日本留学試験聴解試験用CD制作業務

○概要

独立行政法人日本学生支援機構（以下「発注者」という。）では、外国人留学生として我が国の大学（学部）等に入学を希望する者について日本語力及び基礎学力の評価を行うことを目的として、国内外で毎年2回、日本留学試験を実施している。

本業務は、2019年度（平成31年度）に実施する日本留学試験（第1回及び第2回）の日本語科目「聴解・聴読解」試験に使用するCDの制作に係る諸業務（吹き込み者の手配、録音、編集及び製造等）である。

なお、本試験の詳細については、別添1「2019年度（平成31年度）日本留学試験実施要項」を参照のこと。

○契約期間

契約締結日から2019年12月31日まで

○機密保持等

日本留学試験は、日本の多くの大学等が外国人留学生の入試選考において利用する試験であり、試験問題という性格上、本業務は極秘事項となる。本業務を行う者（以下「受託者」という。）は、本業務を遂行するに当たり、本業務において知り得た試験の内容を機密扱いとし、情報管理責任者を置くなど適切な対応を図り、機密の保持を厳守すること。

また、受託者は、守秘義務の遵守に関する講習会・研修を定期的実施していることとし、守秘義務の遵守に関して、取得している資格又は現在実施している社内組織体制などの提示を行うものとする。

○業務実績に関する要件

平成26年1月1日以降に、次の①～③のいずれかの試験問題のCD制作・製造業務を遺漏なく履行完了した実績があること。

- ①大学又は高校入試選考のための語学リスニング試験
- ②語学力を測定するための認定試験の聴解（リスニング）問題
- ③公的な試験の聴解（リスニング）問題

○業務の再委託

本業務は、機密情報を取扱うことに鑑み、吹き込み者（声優）及びその手配、CDの製造並びに輸送業務を除き、受託者が直接雇用する社員が業務を遂行しなくてはならないものとし、受託者がいわゆる人材派遣会社からの派遣を受けて業務を行うこと等、受託者と直接の雇用関係にない者に本業務を行わせることは認めないものとする。

なお、CD製造、輸送業務の再委託を行う場合は、事前に申し出たうえで、発注者からの承認を得ることとする。

○成果物

	第1回試験 納品期限	第2回試験 納品期限
音出しテスト用CD ^{※注}	2019年4月10日(水)	2019年9月9日(月)
試験実施用CD	2019年5月16日(木)	2019年10月9日(水)
アーカイブ用DVD	2019年7月5日(金)	2019年11月29日(金)

※注：「音出しテスト用CD」とは、試験実施会場において事前の音響関係チェックに用いるもので、試験問題として使用する実際の試験実施用CDのイントロダクション部分と複数の吹き込み者のサンプル音声を収録したものである。

○成果物の帰属

この仕様書に基づき受託者が作成する作成物とデータは、すべて発注者に帰属する。また、発注者の必要に応じ二次使用等の場合に備えて適切に処理を行う。

○業務内容

1. 吹き込み者（声優）の手配等

(1) 吹き込み者（声優）の人数

男性4名、女性4名、合計8名

（内訳：先生役男女各3名、学生役男女各1名）

(2) スタジオ録音日時（予定）

第1回試験

	日	時間	
1	2019年2月18日(月)	13:00~17:30	4.5時間×2日間=合計9時間
2	2019年2月20日(水)	13:00~17:30	

第2回試験

	日	時間	
1	2019年7月22日(月)	13:00~17:30	4.5時間×2日間=合計9時間
2	2019年7月24日(水)	13:00~17:30	

(3) 吹き込み者（声優）に求められる要件

①吹き込み者によるナレーション、会話等（以下「台詞」という。）のスク립トは実施前の試験問題であるため、事前に配付することはできない。したがって、吹き込み者は、台詞のスク립トを初見で自然かつ明瞭に話せる者とする。なお、台詞のスク립トは、大学の講義や学生同士の会話などの設定となる。別添2「日本留学試験日本語科目聴解・聴読解問題サンプル」を参照のうえ、問題構成を事前に把握しておくこと。

②吹き込み者は、上記①に掲げる要件を遺漏なく遂行することができる者とする。なお、次のア～ウのいずれかの経験があることが望ましい。

ア 日本語の語学試験（リスニング試験）の吹き込み経験があること

- イ 日本語の語学教材の吹き込み経験があること
 - ウ 日本で放映されている、海外のニュース・ドキュメンタリーでの日本語吹き替えやナレーションの経験があること
- ③吹き込み者のうち、スタジオ録音2日間それぞれについて最低限1名は(1名の者が2日間兼務でも可)、上記②のウに掲げる経験がある者を必ず手配すること。
- ④吹き込み者は、平成30年1月1日以降にテレビ、ラジオ、CDで用いられる音声吹き込み業務を行った業績のあるプロダクション等に登録されている者であること。

(4) 吹き込み候補者のボイスサンプル作成

- ①受託者は、本業務受託決定後速やかに、上記(2)の録音スケジュールに合う吹き込み候補者のボイスサンプルを作成し、発注者に提出する。
- ②ボイスサンプルは、別添2「日本留学試験日本語科目聴解・聴読解問題サンプル」(以下「問題サンプル」という。)の中から、各候補者について、次に掲げるスクリプトを質問文、会話、選択肢、独話をそれぞれ一つずつ録音する方式とする。
- ア 学生候補者
- ・問題サンプル1番の質問文、女子学生又は男子学生のパート及び選択肢
 - ・問題サンプル5番の男子学生の独話部分
- ※女性が男子学生のパートを担当しても差し支えない。その逆も可とする。
性別の違いにより不適當な台詞は適宜修正すること。
- イ 先生候補者
- ・問題サンプル2番の質問文、事務員のパート及び選択肢
 - ・問題サンプル3番の先生の独話部分
- ③発注者は、提出されたボイスサンプルについて審査を行う。なお、複数回サンプルの提出を求めることがある。

(5) 吹き込み者の手配

- ①発注者は、上記(4)のサンプルに基づき選定した者を吹き込み者として指定するので、受託者は吹き込み者の手配及び報酬に係る交渉を行う。
- ②スタジオ録音の日時は、上記(2)のとおりとし、発注者、録音スタジオ及び吹き込み者の3者の日程を調整のうえ決定する。
- なお、必要がある場合は、受託者は吹き込み者に対して、資料等の説明・送付及び連絡事項の伝達等を行う。

(6) 吹き込み者に係る著作権処理

発注者は、試験終了後に試験問題集を出版・市販するので、当該問題集に添付する試験問題の音声CDについて、受託者は、吹き込み者に係る著作権処理を行う。

2. 録音作業

(1) スタジオ選定及び手配

- ①録音を行うスタジオは、機密情報を取り扱うことに鑑み、受託者が自社内に有しているスタジオとする。
- ②スタジオの選定に当たっては、録音室の防音が十分で（NC値15以下）、録音内容の機密性が保てるスタジオを選定する。
- ③スタジオブースは、最低4名の収容が可能なスペースが確保できることとし、かつ、4名が同時に吹き込みを行うことができること。
- ④コントロール・ルーム内は、発注者2名が録音に立ち会うことができ、かつ、スクリプト原稿の確認作業を行うための4名分の机と椅子を配置することができるスペースを確保できること。
- ⑤録音には発注者が立ち会うため、スタジオの所在地が、機構駒場事務所（最寄駅：京王井の頭線「駒場東大前」駅）から鉄道等公共交通機関による移動時間が概ね1時間以内の距離であること。
- ⑥録音スタジオ使用時間（予定）は、上記1の(2)のとおりとする。

(2) 録音方法

- ①吹き込み者による台詞を収録し、その中に効果音（音楽、チャイム等）を挿入する。
- ②録音は、モノラル録音、量子化16bit（非圧縮リニアPCM）、サンプリング周波数44.1kHz、S/N比75dB以上とする。
- ③各問題の間で、音量・音質・音圧などにばらつきが生じないように、録音時に配慮する。

(3) その他

- ①スタジオ録音は、発注者が立ち会うので、発注者の指示に基づき行うこと。
- ②スタジオ録音の際には、必ず受託者の担当者（ディレクター及びエンジニアを含む。）が立ち会う。
- ③貸与する台詞のスクリプトについては、実施前の試験問題という性格上、取扱いには十分注意し、編集完了後は速やかに発注者に返却する。

3. 編集作業

(1) 試験問題の収録時間等

- ①収録時間は、55分程度とする。
- ②収録する問題数は、発注者から別途指示する。
- ③試験問題のほか、音量確認部分、試験全体及び各試験（聴解・聴読解それぞれ）の説明部分、各試験の例題及び例題の解説部分並びに各試験終了の合図を入れる。（別紙1「トラック番号・内容対応表」参照）

(2) 編集方法

- ①効果音は、スクリプトの音声データとは別にし、後からミックスダウンすることとし、効果音の長さや挿入方法については、録音前及び録音時に発注者から指示する。
- ②ポーズの長さや挿入箇所は、録音前及び録音時に発注者から指示する。
- ③編集後にマスタリング作業を行い、音量・音質・音圧などを均等化すること。

(3) 編集内容確認CD-R（サンプルCD-R）の納品

- ①上記により、録音内容及び効果音等を、発注者の指示に基づき編集し、内容を確認するためのサンプルCD-Rを音出しテスト用及び試験実施用それぞれについて作成し、第1回内容確認CD-Rとして、発注者に納品する。
- ②第1回内容確認CD-Rの内容を発注者の指示に基づき編集し、第2回内容確認CD-Rを作成する。以降、第3回、第4回目の修正についても同様に、発注者の指示に基づき、編集及び内容確認CD-Rの作成を行う。なお、音出しテスト用CDの内容確認は、原則として1回のみとする。
- ③各回に納品する内容確認CD-Rの枚数は、1枚とする。
- ④内容確認CD-Rを納品する際、あわせて、トラックごとの収録時間を記載した秒数表を納品する。
- ⑤CD-Rの授受は、機密保持のため手交で行う。

(4) 編集内容の承認

最終の内容確認CD-Rを発注者において検査後、内容の確定とする。

(5) 編集スケジュール（予定）

※詳細については、発注者から別途指示する。

第1回試験		発注者	受託者
2月	2月上旬	吹き込み者(声優)の選定	吹き込み候補者(声優)ボイスサンプル提出
	2月18日,2月20日		吹き込み者(声優)の手配
			スタジオ録音
			編集作業(効果音ダビング作業を含む。)
3月	3月8日(金)	↑第1回内容確認CD-R納品	
	3月15日(金)	↓内容確認、修正指示	発注者の指示に基づく編集作業
	3月25日(月)	↑第2回内容確認CD-R納品	
4月	4月2日(火)	↓内容確認、修正指示	発注者の指示に基づく編集作業
	4月8日(月)	↑第3回内容確認CD-R納品	
	4月10日(水)	音出しテスト用CD納品	
	4月17日(水)	↓内容確認、修正指示	発注者の指示に基づく編集作業
	4月24日(水)	↑第4回内容確認CD-R納品	
5月	5月7日(火)	↓内容の最終確認	マスター制作
	5月16日(木)	試験実施用CD納品	
6月	6月16日(日)	試験実施	
7月	7月5日(金)	アーカイブ用DVD-R納品	

第2回試験		発注者	受託者
6月	6月下旬	吹き込み者(声優)の選定	吹き込み候補者(声優)ボイスサンプル提出
	7月22日,7月24日		吹き込み者(声優)の手配
			スタジオ録音
			編集作業(効果音ダビング作業を含む。)
8月	8月7日(水)	↑第1回内容確認CD-R納品	
	8月15日(木)	↓内容確認、修正指示	発注者の指示に基づく編集作業
	8月22日(木)	↑第2回内容確認CD-R納品	
9月	8月30日(金)	↓内容確認、修正指示	発注者の指示に基づく編集作業
	9月5日(木)	↑第3回内容確認CD-R納品	
	9月9日(月)	音出しテスト用CD納品	
	9月17日(火)	↓内容確認、修正指示	発注者の指示に基づく編集作業
	9月25日(水)	↑第4回内容確認CD-R納品	
10月	9月30日(月)	↓内容の最終確認	マスター制作
	10月9日(水)	試験実施用CD納品	
11月	11月10日(日)	試験実施	
	11月29日(金)	アーカイブ用DVD-R納品	

4. CDの作成

上記3の編集作業を経て、発注者による最終確認がすべて終了した音源を用い、音出しテスト用CD及び試験実施用CDを作成する。

なお、CD-Rコピーは不可とし、CDプレスによる作成とする。

(1) 音出しテスト用CD

① CDのプレス及び作成部数

音出しテスト用のCDとして、編集が終了した録音内容から発注者が指定する部分（音量確認部分）を、実際の試験用CDと同音質、同音量で取り出して製造する。作成部数は、以下のとおりとする。

【作成部数】

	第1回試験	第2回試験
音出しテスト用CD	400	400

②トラック表示

音量確認部分（1分間程度）は、3回繰り返し、それぞれトラック1～3と表示する。（別紙1「トラック番号・内容対応表」参照）

(2) 試験実施用CD

①作成部数

作成部数は、以下のとおりとする。

【作成部数】

	第1回試験	第2回試験
試験実施用CD	1000	1000

②トラック表示

CDのトラック表示は、別紙1「トラック番号・内容対応表」のとおりとする。

(3) CDラベルの印刷

CDの信号面の裏面に、発注者が指定する文字を印刷する。音出しテスト用及び試験実施用それぞれの印刷内容は、別紙2「CD等印刷内容仕様」のとおりとする。

(4) CDの包装

CDは透明プラスチックケース（7mm厚）に入れ、キャラメル包装とする。

(5) 納品

発注者の指示に基づき、仕分け・梱包し、発注者が指定する場所（東京都区内1か所）に納品する。なお、納品に当たっては、社用車による輸送又は警備輸送等、安全かつ秘密保持が確実な輸送方法により行うこと。

5. アーカイブ用DVDの作成

以下の方法に基づき、音源からアーカイブ用DVDを作成する。

- ①マージン時間の設定については、最初の音の立ち上がり直前と最後の音の立ち下がり直後には、必ず50msのマージンを取る。
- ②問題項目ごとに独立したファイルを作成する。
- ③Windows用のWaveフォーマットとする。
- ④問題に関する教示、問題番号のアナウンス等、問題の実施に係る音声についても、問題項目の音声データと同様に、独立したファイルを作成する。また、それらのマージン時間も同様に取り。
- ⑤DVD-Rに収納する。作成部数は、2枚（予定）とする。
- ⑥ファイル名については、別途指示する。
- ⑦トラック別のファイル名を一覧にしたものをMicrosoft Excelファイルで作成し、DVD-Rに収納する。

6. 音源の管理等

- (1)受託者は、録音・編集作業を行う場所の設定に当たり、試験問題の漏洩を防止するために、関係者以外の立ち入りが厳格に制限されている場所とすること。また、編集作業時間外に関係者以外の者が立ち入ることができないよう、セキュリティが厳重に完備されていること。
- (2)録音・編集作業に従事する社員を限定し、当該社員以外の者が関わることをないよう管理すること。
- (3)各種録音編集機器の使用に当たっては、通信ネットワーク（有線・無線を問わず）に接続していない環境で作業を行うこと。
- (4)音源は、発注者が指定する期日まで、受託者において細心の注意をもって保管する。音源が保存されているハードディスク等、いかなる媒体も、施錠可能なところに厳重に保管するよう、秘密保持には万全を期すこと。
- (5)CDの製造に当たっては、機密保持の観点から、日本国内の工場において製造することとし、製造作業に関わる社員が限定され、作成するCDの施錠保管、入退室管理等を含めた機密管理体制が整っていること。

7. 貸与品の返却等

契約終了後は、発注者から貸与したすべての貸与物を返却し、すべてのデータを破棄すること。

8. 不測の事態

不測の事態が生じた場合には、発注者の指示に基づき、受託者が適切に対処するとともに、事態の詳細について（状況、原因、対処等）を発注者に報告すること。

○作業完了報告

受託者は、各試験回におけるすべての業務が終了した時点で、発注者に業務完了

報告書を提出する。

○監督体制

本業務にかかる監督は、機構留学生事業部留学試験課試験開発係長が行い、検査は機構留学生事業部留学試験課長が行う。

○業務委託費の支払

受託者から各試験回における業務完了報告書を受領後、発注者において検査職員が検査を行う。検査終了後、受託者は請求書を作成し、発注者に提出する。発注者は、請求書を受領した日から30日以内に受託者が指定する銀行口座に振込送金にて業務委託費を支払うものとする。

○提案書の提出

入札参加希望者は、入札に先立ち、提案書を提出すること。(原本1部、副本2部)提案書の作成に当たっては、次の1から6に掲げる事項について、別紙様式により記載すること。

1. 業務実績
2. 想定される吹き込み者(声優)の吹き込み経験等
3. 録音スタジオの所在地及びスタジオ仕様
4. 音源の管理方法・セキュリティ体制等
5. 組織の機密管理体制
6. 再委託に関する事

※その他特記事項があれば明記すること。

○入札金額積算に当たっての留意事項

1. 入札金額積算に当たっては、本仕様書に記載されている業務に要するすべての経費について、漏れなく積算することとし、録音スタジオ使用料、編集費用、吹き込み者(声優)・ディレクター・エンジニア等のスタッフ人件費、CD製造料、運搬料等の内訳を明記すること。
2. 録音スタジオ使用料は、1時間あたりの単価を明記のうえ積算すること。
3. 編集費用の積算に当たっては、内容確認CD、音出しテスト用CD及び試験実施用CDすべての編集に要する総時間数を45時間程度とし、1時間あたりの単価を明記のうえ積算すること。

○その他

予め指示のない状況が生じた場合、その取扱いについては発注者と受託者が協議のうえ、決定するものとする。

○参考資料

別添1 2019年度(平成31年度)日本留学試験実施要項

別添2 日本留学試験日本語科目聴解・聴読解問題サンプル

【業務担当部署】

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29
独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
留学生事業部留学試験課 試験開発係
TEL : 03-6407-7457 FAX : 03-6407-7462

トラック番号・内容対応表

1. 音出しテスト用CDトラック番号・内容対応表

トラック	内容	備考
T1	音量の調節・試験問題サンプル	
T2	音量の調節・試験問題サンプル	
T3	音量の調節・試験問題サンプル	

2. 試験実施用CD

トラック	内容	備考
T1	音量の調節	試験開始前
T2	試験全体の説明	↑ 聴読解試験時間 ↓
T3	聴読解の説明	
T4	聴読解練習	
T5	聴読解練習の解説	
T6	聴読解 1 番	
T7	聴読解 2 番	
T8	聴読解 3 番	
T9	聴読解 4 番	
T10	聴読解 5 番	
：	：	
：	(略)	
：	：	
：	聴読解終了の合図	
(以下トラック NO 略)	聴解の説明	↑ 聴解試験時間 ↓
	聴解練習	
	聴解練習の解説	
	聴解 ○番	
	：	
	(略)	
	：	
	聴解・試験終了の合図	

※収録時間：55分程度

※収録する問題数は、発注者から別途指示する。

CD等印刷内容仕様

1. 音出しテスト用CDラベル



2. 試験実施用CDラベル



- ※1. 音出しテスト用・試験実施用とも、銀地（印刷なし）に墨の太字ゴシック体で印字する。
- ※2. CDDA規格ロゴは、可能な限り小さく印字する。

仕様書及び別紙1・2については、入札当時のものから機密にかかわる箇所を一部削除しております。

2019 年度（平成 31 年度）日本留学試験実施要項

1. 目的

外国人留学生として、我が国の大学（学部）等に入学を希望する者について、日本語力及び基礎学力の評価を行う。

2. 実施者

独立行政法人日本学生支援機構が、文部科学省、外務省、大学及び国内外の関係機関の協力を得て実施する。

3. 試験の方法、内容等

- (1) 対象 : 外国人留学生として、我が国の大学等に入学を希望する者
- (2) 試験日 : 第 1 回 2019 年（平成 31 年）6 月 16 日（日）
第 2 回 2019 年（平成 31 年）11 月 10 日（日）
- (3) 実施地 : 国内 北海道、宮城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県又は福井県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県又は広島県、福岡県及び沖縄県
国外 インド(ニューデリー)、インドネシア（ジャカルタ及びスラバヤ）、韓国（ソウル及びプサン）、シンガポール、スリランカ（コロンボ）、タイ（バンコク及びチェンマイ）、台湾（台北）、フィリピン（マニラ）、ベトナム（ハノイ及びホーチミン）、香港、マレーシア（クアラルンプール）、ミャンマー（ヤンゴン）、モンゴル（ウランバートル）及びロシア（ウラジオストク）

(4) 出題科目等

受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、以下の科目の中から選択して受験する。

科目	目的	時間	得点範囲
日本語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパニーズ）を測定する。	125 分	読解 聴解・聴読解 0～400 点
			記述 0～50 点
理科	日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科（物理・化学・生物）の基礎的な学力を測定する。	80 分	0～200 点
総合科目	日本の大学等での勉学に必要な文系の基礎的な学力、特に思考力、論理的能力を測定する。	80 分	0～200 点
数学	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80 分	0～200 点

[備考]

- ①日本語の科目は、記述、読解、聴解・聴読解の 3 領域から構成される。
- ②理科について、受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、物理・化学・生物から 2 科目を選択する。
- ③数学について、受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用のコース 1、数学を高度に必要とする学部用のコース 2 のどちらかを選択する。
- ④理科と総合科目を同時に選択することはできない。
- ⑤上記の得点範囲は、日本語の科目の記述を除き、素点ではなく、共通の尺度上に表示する。また、記述については基準に基づき採点する。
- ⑥出題範囲は、各科目のシラバスを参照のこと。
- (5) 出題言語 : 日本語及び英語により出題するので、受験者は、受験希望の大学等の指定を踏まえて、出願の際にどちらかを申告する（日本語の科目は日本語による出題のみ）。
- (6) 解答方式 : 多肢選択方式（マークシート）（日本語の科目は記述式を含む。）

4. 出願の手続き等

(1) 出願手続き

① 願 書 : 所定のもの

② 受 験 料 : 国 内 (1科目のみの受験者) 7,560 円 (税込み)
(2科目以上の受験者) 14,040 円 (税込み)

国 外	インド	800	ルピー
	インドネシア	50,000	ルピア
	韓国 (1科目のみの受験者)	50,000	ウォン
	(2科目以上の受験者)	80,000	ウォン
	シンガポール	36	シンガポールドル
	スリランカ	1,000	スリランカルピー
	タイ	350	バーツ
	台湾 (1科目のみの受験者)	1,200	台湾ドル
	(2科目以上の受験者)	1,600	台湾ドル
	フィリピン	250	ペソ
	ベトナム	130,000	ドン
	香港 (1科目のみの受験者)	450	香港ドル
	(2科目以上の受験者)	850	香港ドル
	マレーシア	60	リンギット
	ミャンマー	15	米ドル
	モンゴル	14,000	トゥグルグ
	ロシア	300	ルーブル

- ③ 受付期間 : 国 内 (第1回) 郵送による出願は2019年(平成31年)2月12日(火)から3月8日(金)まで(当日消印有効)
オンラインによる出願は2019年(平成31年)2月12日(火)から3月8日(金)17時まで
(第2回) 郵送による出願は2019年(平成31年)7月1日(月)から7月26日(金)まで(当日消印有効)
オンラインによる出願は2019年(平成31年)7月1日(月)から7月26日(金)17時まで
- 国 外 (第1回) 2019年(平成31年)2月12日(火)から3月8日(金)まで
(第2回) 2019年(平成31年)7月1日(月)から7月26日(金)まで
- ④ 出 願 : 国 内 独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部留学試験課に提出する。
国 外 各国・地域の現地機関に提出する。

(2) 出願方法

- 国 内 : 出願手続き等の細目については、独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトで公表する。
郵送による出願に必要な「2019年度(平成31年度)日本留学試験受験案内(願書付き)」は、2019年(平成31年)2月12日(火)から1部本体486円+消費税で全国の主要書店において販売予定。
- 国 外 : 各国・地域の現地機関と調整のうえ、決定する。

(3) 受験票の送付

- 国 内 : 願書を受理したものについて、次に掲げる期日(予定)に発送する。
第1回 2019年(平成31年)5月17日(金)
第2回 2019年(平成31年)10月18日(金)
【備考】受験票、結果の通知の送料については、受験料に含む。
- 国 外 : 各国・地域の現地機関と調整のうえ、決定する。
【備考】受験票、結果の通知の送料については、受験案内等で公表する。

5. 結果の通知等

(1) 受験者への通知

次に掲げる期日(予定)に、試験の成績を通知する。

第1回 2019年(平成31年)7月24日(水)

第2回 2019年(平成31年)12月20日(金)

【備考】国内においてオンラインによる出願を行った者は、同日より、オンライン上での成績照会を開始する。

(2) 大学等からの成績照会

別途定める所定の登録手続きを行った大学等に対しては、(1)に掲げる期日より、オンライン上での成績照会を開始する。

照会先：独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話：03-6407-7457 FAX：03-6407-7462 E-Mail：jasso_eju@jasso.go.jp
--

日本留学試験日本語科目
聴解・聴読解問題サンプル

聴解問題

〔音声〕

1 番 女子学生が、男子学生にレポートについてアドバイスしています。この女子学生は、男子学生にどんなことを勧めていますか。

男子学生：経済のレポート、もう書いた？

女子学生：うん。書き始めたら、夢中になっちゃって。

男子学生：えーっ、そうなんだ。僕は何だかやる気が出なくてさ。

女子学生：とりあえず、机に向かってみたら？

男子学生：でも、何をどう書くか、まだ計画も立ててないし。

女子学生：じゃあ、まずノートを見直すとか、疑問に思う点を書き出すとか…。もう始めないと、締め切りに間に合わないよ。

男子学生：それはそうなんだけど…。

女子学生：心理学の授業でも習ったじゃない。気分が乗らなくても、実際に体を動かしているとその気になってくるって。

男子学生：そうだね。じゃあ、図書館に行ってみるか。

女子学生：そうそう、その調子。

この女子学生は、男子学生にどんなことを勧めていますか。

1. とにかく何か行動を起こすこと
2. 事前に計画を立てること
3. 心理学の授業に出ること
4. 締め切りに間に合わせることにすること

〔音声〕

2番 女子学生が、事務の人に、授業科目の登録について相談しています。この女子学生はこの後すぐどうしますか。

女子学生：あの、後期の授業科目の登録のことで質問があるんですけど。

事務員：はい。

女子学生：「心理学応用」を履修したいんですけど、これは前期に「心理学基礎」を受けていないと履修できないんでしょうか。

事務員：ええ、「心理学基礎」は受けてないんですか？

女子学生：はい、同じ時間に専門科目の授業があったので。

事務員：先生には相談しましたか。

女子学生：まだです。出張でいらっしゃらなくて。

事務員：それなら、一応登録しておいて、最初の授業までに先生に相談してみてください。ダメだって言われたら、そのあと登録訂正期間がありますから、そのときに登録取り消しの手続きをしてください。

女子学生：はい、そうします。

この女子学生はこの後すぐどうしますか。

1. 先生に相談に行く。
2. 「心理学応用」の登録手続きをする。
3. 「心理学基礎」の登録手続きをする。
4. 専門科目の授業の登録を取り消す。

〔音声〕

3番 先生が、消費者からの苦情に対する企業の対応について話しています。この先生は、苦情は企業にどのような影響を与えていると言っていますか。

先生：「苦情」と言うと、日本人は「単なる文句」と受け取ることが多いかもしれません。しかし、消費者からの苦情の中には、企業にとって情報として価値の高いものもあります。ある商品に対して出された苦情をよく考えてみると、新商品開発のヒントになることもあるのです。ですから、企業に対して苦情があったときに、それを上司や別の部署に隠そうとするのは間違っています。むしろ、情報として管理・共有すべきです。そうすれば苦情として寄せられた問題を解決できる可能性も広がり、結果として、苦情を言ってきた消費者が商品やサービスに逆に好意を持つこともあるのです。

この先生は、苦情は企業にどのような影響を与えていると言っていますか。

1. 企業や商品に対するイメージを悪くする。
2. 商品の価格が低下する。
3. 社員のやる気を高める。
4. 商品の改良やイメージの向上につながる。

聴読解問題

* 聴読解問題について

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聞いて答える問題です。

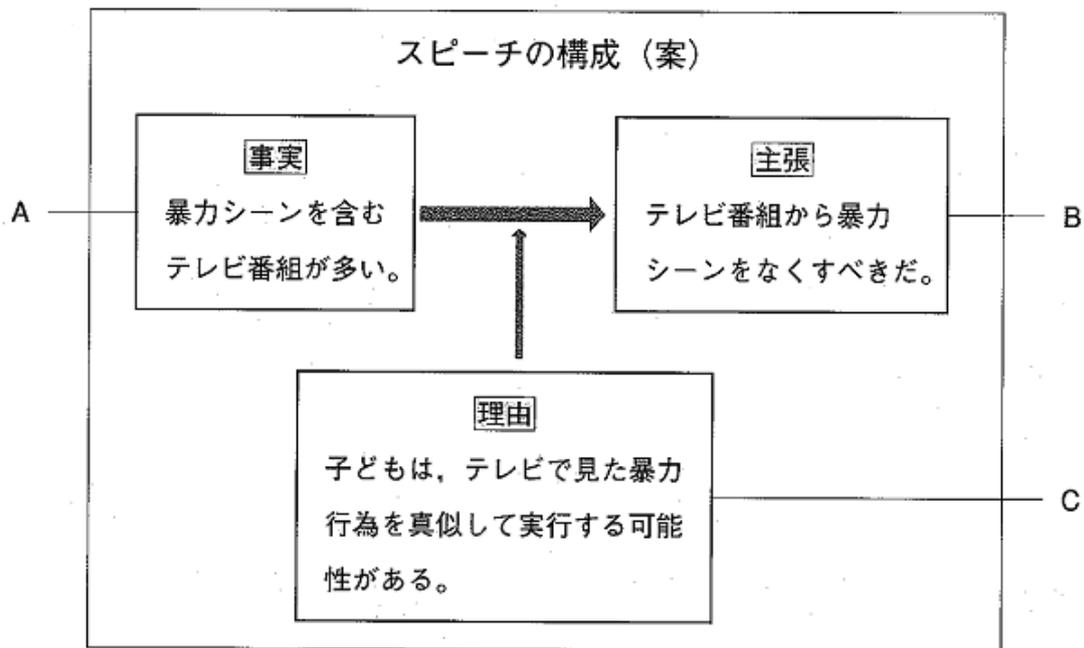
録音するのは、以下の【音声】の部分です。

〔問題冊子〕

4番

女子学生が、先生に、スピーチの構成をチェックしてもらっています。この先生は、スピーチの構成のどこについて、さらに準備をするように言いましたか。

4



(大井恭子「第5章 クリティカルにエッセイを書く」)

鈴木健他編『クリティカル・シンキングと教育—日本の教育を再構築する—』世界思想社
を参考に作成)

1. AとB
2. AとC
3. BとC
4. A, B, Cすべて

〔音声〕

4番 女子学生が、先生に、スピーチの構成をチェックしてもらっています。この先生は、スピーチの構成のどこについて、さらに準備をするように言いましたか。

女子学生：先生、これ、スピーチの構成を書いてみたんですが、見ていただけませんか。

先生：ええ、いいですよ。えーと…この、主張ははっきりしてますけど、これ、裏付けは取ったんですか。

女子学生：裏付け、ですか。

先生：ええ。テレビ番組に暴力シーンがどれくらいあるのか、例えば何かの調査結果などで示された数字を入れたりすると、よくなりますよ。

女子学生：はい。具体的なデータを入れるってことですね。

先生：そうです。あと、ここにも、例えば子どもは影響されやすいってような裏付けがあったほうがいいですよ。そのほうがスピーチを聞いている人を納得させられますから。

女子学生：そうですね。これ、実は何かの本で読んだ話なんです。その本、もう一度探してみます。

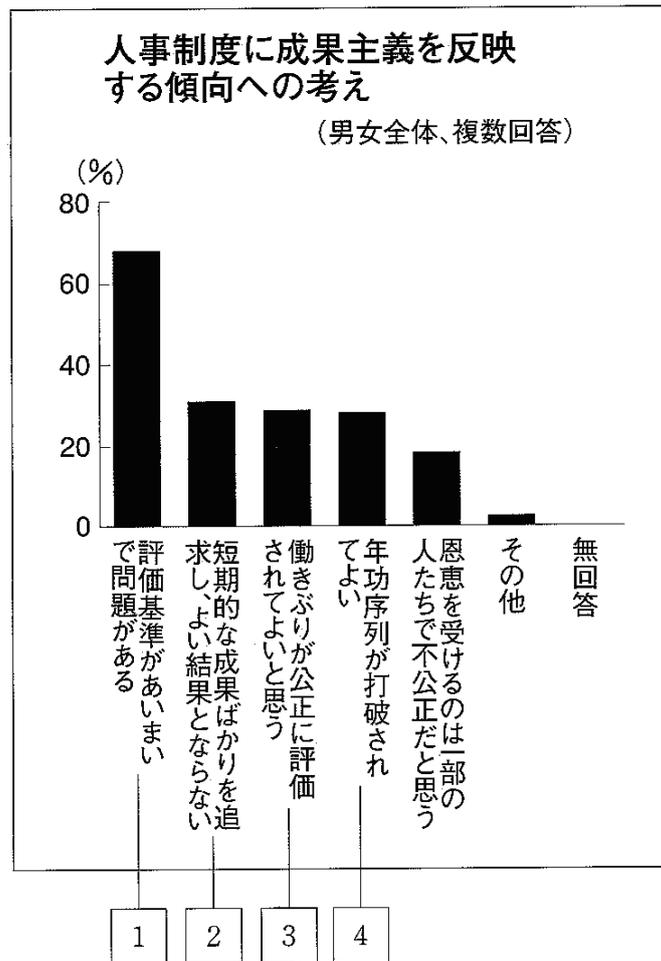
先生：ええ、そうしてみてください。

〔問題冊子〕

5番

男子学生が、授業で、成果主義の導入に関する調査の結果について発表しています。この男子学生は、今後どの意見に注目して調査を進めると言っていますか。

5



(日本経済新聞2006年1月3日)

〔音声〕

5番 男子学生が、授業で、成果主義の導入に関する調査の結果について発表しています。この男子学生は、今後どの意見に注目して調査を進めると言っていますか。

男子学生:近年、日本の企業では、従来一般的だった年功序列制度が崩れつつあります。そして、成果主義が取り入れられてきています。成果主義では、目標の達成度に応じて評価が与えられ、その評価に基づいて賃金が決まります。つまり、働いて、結果を残すことが重視されるわけです。

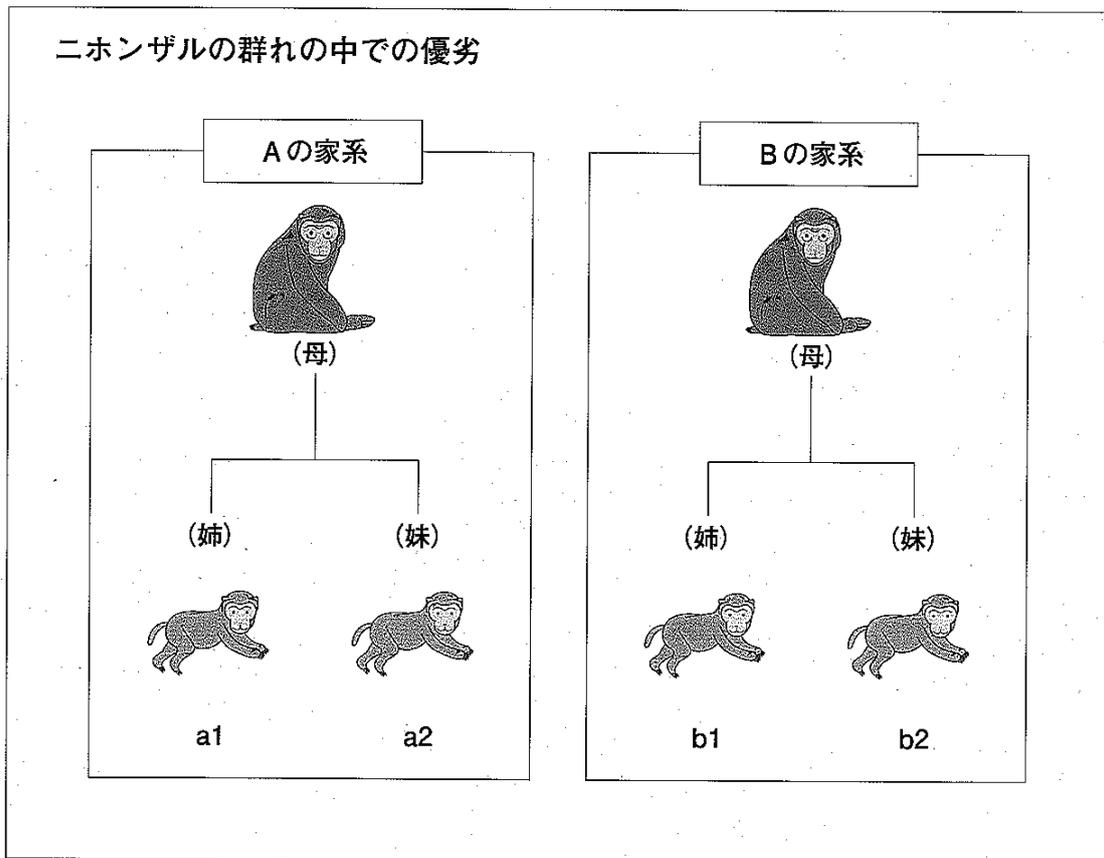
では、グラフをご覧ください。これは、成果主義について、会社員がどのような意見を持っているかを調べた結果で、否定的な意見も見られます。仕事と一口に言っても、例えば製品開発のように、成果が出るまで時間のかかる職種もあります。そういう仕事では半年や1年では結果が出ないこともあり、そのような短い時間で評価を下されることに抵抗を感じている人がいるのではないかと思います。そこで私は、この点に関して、家電メーカーで製品開発に携わっている人に絞って、さらに調査してみたいと思います。

[問題冊子]

6 番

先生が動物学の講義で、ニホンザルの、群れの中の優劣について説明しています。この先生の説明によると、資料のそれぞれの子どもの順位はどうなりますか。

6



1. a1 → a2 → b1 → b2
2. a2 → a1 → b2 → b1
3. b1 → b2 → a1 → a2
4. b2 → b1 → a2 → a1

〔音声〕

6番 先生が動物学の講義で、ニホンザルの、群れの中の優劣について説明しています。この先生の説明によると、資料のそれぞれの子どもの順位はどうなりますか。

先生：ニホンザルは群れで生活をしていますが、群れの中には優劣の順位があつて、この順位には規則があることがわかっています。

資料の例を見ながら考えましょう。AとBの家系にはそれぞれ、母ザルと、メスの子どもが二頭ずついます。メス同士の優劣には二つの法則があります。

一つ目の法則は、家系、つまり、血縁関係のあるグループの間に優劣があることです。優勢な家系に属するすべてのメスザルは、もう一方の家系に属するメスより、順位が上になります。資料の例では、Aの家系がBの家系より順位が上だとしましょう。

二つ目の法則は、同じ母親を持つ子どもの間では、歳が下のメスほど順位が上になるということです。これは、母ザルがいつも歳が下の子の味方をするために起こると言われています。

この二つの法則を考えると、資料のそれぞれの子どもの順位はどうなりますか。

2019 年度（平成 31 年度）日本留学試験聴解試験用
CD 制作業務委託提案書

社名 _____ 社印

担当者名 _____ 印

1. 業務実績

※仕様書1ページ「業務実績に関する要件」

①大学又は高校入試選考のための語学リスニング試験、②語学力を測定するための認定試験の聴解（リスニング）問題、③公的な試験の聴解（リスニング）問題、いずれかの試験問題CD制作・製造業務の実績を記載すること。（ただし、平成26年1月1日以降に履行完了した実績に限る。）
なお、②③については、試験の概要が掲載されているウェブサイト（主催者のページ等）のURLを「試験の概要」欄に記載すること。

(1)

試験の名称	
委託年月日	
試験の主催者 ※②③の場合記載する。	
試験の概要	

(2)

試験の名称	
委託年月日	
試験の主催者 ※②③の場合記載する。	
試験の概要	

(3)

試験の名称	
委託年月日	
試験の主催者 ※②③の場合記載する。	
試験の概要	

2. 想定される吹き込み者（声優）の吹き込み経験等

※仕様書2ページ「業務内容」の「1. 吹き込み者（声優）の手配等（3）吹き込み者（声優）に求められる要件」

(1) 主な吹き込み経験

※想定される吹き込み者（声優）について、それぞれ、内容（試験・教材・番組等の名称）、経験した時期などを1名につき3件まで記載すること。

(2) 登録団体等（※会社概要等を添付すること。）

男性1

(1) 主な吹き込み経験（試験・教材・番組等の名称及び時期）（※3件まで）	
(2) 登録団体	

男性2

(1) 主な吹き込み経験（試験・教材・番組等の名称及び時期）（※3件まで）	
(2) 登録団体	

男性3

(1) 主な吹き込み経験（試験・教材・番組等の名称及び時期）（※3件まで）	
(2) 登録団体	

男性4

(1) 主な吹き込み経験（試験・教材・番組等の名称及び時期）（※3件まで）	
(2) 登録団体	

女性 1

(1) 主な吹き込み経験（試験・教材・番組等の名称及び時期）（※3件まで）	
(2) 登録団体	

女性 2

(1) 主な吹き込み経験（試験・教材・番組等の名称及び時期）（※3件まで）	
(2) 登録団体	

女性 3

(1) 主な吹き込み経験（試験・教材・番組等の名称及び時期）（※3件まで）	
(2) 登録団体	

女性 4

(1) 主な吹き込み経験（試験・教材・番組等の名称及び時期）（※3件まで）	
(2) 登録団体	

3. 録音スタジオの所在地及びスタジオ仕様

※仕様書4ページ「業務内容」の「2. 録音作業（1）スタジオ選定及び手配」

(1)所在地（自社内に限る。）

(2)スタジオの仕様（防音レベル（NC値）、スタジオブース及びコントロールルームの広さ等）

(1)所在地	
(2)スタジオ仕様	①防音レベル（NC値）： ②スタジオブースの広さ（㎡）： ③コントロールルームの広さ（㎡）：

※レイアウト図を添付すること。

4. 音源の管理方法・セキュリティ体制等

※仕様書8ページ「業務内容」の「6. 音源の管理等」(1)から(5)に掲げるすべての事項について、管理方法・体制等を記載すること。

- (1)-1 録音スタジオのセキュリティ
- (1)-2 編集作業を行う場所のセキュリティ
- (2) 録音・編集に従事する社員の管理体制
- (3) 編集機器の使用に当たっての作業体制
- (4) 音源の管理方法
- (5) CD製造場所のセキュリティ及び製造に従事する社員の管理体制

5. 組織の機密管理体制

※仕様書1ページ「機密保持等」

- (1) 資格（※取得している資格があれば記載すること。）
- (2) 組織体制（※機密保持・守秘義務遵守のため実施している社内組織体制を提示すること。）
- (3) その他機密管理に関する特記事項があれば記入すること

6. 再委託に関すること

※仕様書1ページ「業務の再委託」

CD製造、輸送業務の再委託を行う場合の再委託先情報（名称・所在地等）を下記欄に記載すること。（再委託を行わない場合は、下記欄は空欄のまま提出すること。）

(1) CD製造

会社名	
所在地	
会社概要	
再委託する理由	

(2) 輸送業務

会社名	
所在地	
会社概要	
再委託する理由	

7. その他(※特記事項があれば記入すること)